

事業所名

ピュアの樹 がっけん



12月



支援プログラム

作成日

R7 年

11 月

25 日

法人（事業所）理念		こどもの生命と人権を尊重し、将来において温かくいきいきとした生活が送れるよう個々の特性に合った療育を提供します。 地域に根差し寄り添いながら、様々な関係機関の皆様との連携に努めます。									
支援方針		こどもが楽しい！やってみたい！という気持ちを大切にし、感覚統合理論の視点を持った遊びを、程良いチャレンジから成功体験を重ねる事で、遊びを通して感覚の発達を促していきます。									
営業時間			8 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	（あり）	なし
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	以下のような生活に必要なスキルの獲得を目指せるように丁寧にかかわります。 ・自分の荷物を所定の位置に置く、手を洗う ・挨拶をする事で、人とのコミュニケーションを取り、人との関りが楽しいと感じられる ・靴下の脱ぎ方や穿き方のお手本を提示し、自分で身支度ができるように関わる									
	運動・感覚	・大型遊具に乗ったり身体をたくさん使う運動遊びを経験する中で、成功体験を通して達成感を感じられるようにアプローチする ・サンタクロースさんになって重たいプレゼントをソリに載せて、押す、引く、抱えるを中心にした運動遊びやサーキット遊びに取り組みくめるように準備する									
	認知・行動	・クリスマスの雰囲気を感じながら、簡単なゲームのルールを理解し楽しく遊べるように関わる ・プレゼントを大切に扱い気持ちを込めて届けよう									
	言語 コミュニケーション	・” どうぞ ” ” ありがとう ” などお友達に自分の気持ちの言葉を伝えられるように、言葉を一緒に考えたりシーンに即した言葉が発声できるように関わる ・クリスマスの歌を皆で歌いましょう									
	人間関係 社会性	お友達や先生を意識して遊べるように先生が仲介しながら、フープ・ボールなどを使って、人と遊ぶ事が楽しいと感じられるような関わりをする									
家族支援		・個別支援計画書に基づく6ヵ月に1度のモニタリングと相談援助を行う ・ベアトレ、保護者交流会、研修会、支援場面の参観、連絡帳、電話などを介した相談援助を行なう						移行支援		地域で暮らす他のこどもと繋がりながら、生活を送ることができるように 具体的移行先との調整・支援方法の提供を行なう	
地域支援・地域連携		こどもが通う保育所やこども園や幼稚園等との情報連携や、支援方法等に関する相談援助、計画書の作成や見通しに関する会議を開催する						職員の質の向上		週に1度の事業所内研修や外部講師を招いての研修を年に数回行い、 職員が自信を持って支援に携われるようにしている 月例担当者会議・個人研修発表・プログラム会議・OTPTST研修	
主な行事等		・こいのぼり集会・夏祭りお楽しみ会・水遊び・うんどうかい遊び・ハロウィンパーティー・相撲大会・クリスマス会・新年書初め・昔わらべ歌あそび・節分・お別れ会 ・子育てひろばへの参画・保護者会・OT、PT、ST研修・社労士による働き方改革セミナー・虐待、拘束、安全、感染対策、BCP研修・避難訓練									

